支援プログラム (参考様式) 作成日 事業所名 いろどりぷらす 令和7年 3 月 3 ⊟ 1.確かな知識と高い技術によって裏付けされた支援の専門集団として、関わる全ての人に安心を届けます。 法人(事業所)理念 2. 誰ひとりとして取り残すことなく、人と人の結びつきを深め、明るい笑顔作りに貢献します。 1. 子どもの安全を第一に考え行動します。 |2.子どもの人権を考え行動します。 支援方針 3. 子どもの「できる」を考え行動します。 4. 子どもの未来を考え行動します。 5. 誰のための支援なのかを考え行動します。 営業時間 00 分から 16 時 30 分まで 送迎実施の有無 あり なし 支 援 内 容 健康状態の維持・改善 / 生活のリズムや生活習慣の形成 / 基本的生活スキルの獲得 □食事、着脱、準備、片付けに関するプログラムを実施します。 健康・生活 口食事、着脱等の基本的な生活習慣を身に着けられるようスモールステップで支援を行います。 □排泄や着替えの動作について、課題分析などの客観的・具体的な分析を基に課題を明確にして支援します。 姿勢と運動・動作の向上 / 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 / 保有する感覚の総合的な活用 □粗大運動(姿勢、移動、体つくり等)微細運動(つまむ、とおす、描く等)に関するプログラムを実施します。 運動・感覚 ロボール、トランポリン、一本橋等の運動遊びを通して、保有する感覚を十分に活用できるよう支援します。 □感覚の偏りに対する環境調整を行います。 認知の発達と行動の習得 / 空間・時間、数等の概念形成の習得 / 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 本人支援 □身体部位・色・分類・感情概念・数に関するプログラムを実施します。 認知・行動 □認知の特性についての理解と対応、外部環境への適切な認知と適切な行動の習得を支援します。 □様々な教材を使用しながら、絵、文字、物への興味・関心を高め、認知の発達を促します。 言語の形成と活用 / 言語の受容及び表出 / コミュニケーションの基礎的能力の向上 / コミュニケーション手段の選択と活用. □個々に配慮された場面で、非言語(ジェスチャー、声のトーン、表情など)、言語(単語、文、会話など)、読み書きに関する支援を行います。 □多様なコミュニケーション手段の中からお子さんに合ったものを適切に選択、活用します。 コミュニケーション 口発音や吃音についても、お子さんの状態に合わせて適切にアプローチします。 他社との関わり(人間関係) の形成 / 自己の理解と行動の調整 人間関係 □集団スキルや地域生活、社会的に関するプログラムを実施します。 □スケジュールを実物・絵・写真など、子どもの理解へ合わせて視覚的に示し、見通しを持ちながら自発的に療育へ参加できるよう支援します。 社会性 □遊びを通じた社会性の発達、環境に対する安心感、人に対する信頼感、自己肯定感を育みます。 スムーズな移行ができるよう、家族の意向を確認しながら、療育の内容報 観察の機会提供や、発達や発達特性に関する事項、支援内容と意図に関する説 家族支援 移行支援 明、相談、助言を行います。 告、訪問等での移行先への情報提供を行います ・他事業所への見学 ・事業所内研修 相談支援事業所との生活支援や発達支援における連携や、子どもに関わる地域 地域支援・地域連携 職員の質の向上 · 会社合同研修会 ・地域部会、連絡会 の関係機関(保健・医療・教育)との連携を行います。 ・社外研修